

団体名：苫小牧市大会等誘致推進協議会

回答日：平成 30 年 12 月 28 日

要望書（回答）

1 白鳥王子アイスアリーナ ウォーミングアップエリアの設置について【新】

白鳥王子アイスアリーナはアイスホッケー競技を中心に、国際大会や全国大会等が多数開催されていますが、現在、ウォーミングアップ及びダウンは、アリーナ前のエントランスで行われています。

関係競技団体やチーム等からも要望が寄せられていることに加え、練習効率の向上や一般客への安全性の配慮、国際大会誘致の観点から、白鳥王子アイスアリーナ近辺へのウォーミングアップエリアの設置について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

近年アイスホッケーのみならず、各種競技のトレーニング方法が効率的で効果的なものに変化してきております。

白鳥王子アイスアリーナにおきましては、国が指定するアイスホッケー競技のナショナルトレーニングセンターであり、毎月のように日本代表による合宿が行われており、日本代表関係者からトレーニングスペースの必要性についてご意見を伺っております。

今後、アイスホッケー日本代表が世界に通用する選手強化を図るため、また他競技においても地元競技団体や合宿団体が利用できる施設にすることで、大会や合宿誘致の優位性が増すと考えられますので、他のスポーツ施設の老朽化対策との優先順位を見極めながら検討していきたいと考えております。

2 スポーツ合宿等補助制度の継続について【新】

平成 27 年度に新設されたスポーツ合宿等補助制度により、本市を合宿地に選ぶ団体が増え、多数のリピート利用に繋がっています。合宿地としての知名度向上と、宿泊施設を始めとする関連事業者への経済波及にも大きな影響があることから、本制度の継続をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

本制度開始から 3 年が経過し、関係機関の協力もあり徐々に競技団体に制度が浸透してきていると感じております。また、この間制度の見直しを行い利用しやすく改善した事により、合宿で本市を訪れる団体が増加しており地域経済に大きな効果が生まれていると考えております。

苫小牧市スポーツ推進計画では、『活気みなぎる「スポーツ都市」とまこまい』をテーマとして掲げており、スポーツによる活気あるまちづくりを推進していくツールとして本制度の役割は大きいと考えておりますので、引き続き本制度の周知を行い合宿の誘致を推進していきたいと考えております。

3 日本学生氷上競技選手権大会の4年に一度の開催について【新】

日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都・苫小牧でプレーができるよう、4年に一度苫小牧での開催をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

インカレにつきましては、これまで日本学生氷上競技連盟（以下「学連」という。との協議により5年に1度の開催となっておりますが、学連からの要請により1年前倒しで平成28年度に開催しております。

平成29年度からは、競技を分離して開催されており、平成30年度のアイスホッケー競技に関しましては本市で開催することになっております。

アイスホッケーの競技者は、本市出身の選手が多い事からも在学中に1度は地元でプレーできるように、今後におきましても学連と協議をしていきたいと考えております。

4 総合体育館の建設（改修）について【継続】

総合体育館は、昭和48年に建設され、市民はもとより、各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、経年による老朽化が進んでいます。

今後、市政計画立案の際、多様な機能を有し、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がる新たな総合体育館の建設について、ご検討を頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

総合体育館につきましては、建設後45年が経過しており不具合箇所を改修や修繕をしながら維持している状況にあります。

年間20万人を超える利用がある総合体育館は、本市のスポーツ振興に欠かせない施設であることから、地方大会をはじめ全道・全国規模の大会や合宿誘致に最適な施設となるよう引き続き調査研究を行ってまいります。

5 緑ヶ丘総合運動公園の環境整備と諸施設の利用について【継続】

陸上競技場、野球場、テニス場に続き、サッカー場の改修も行われており、総合運動公園としての機能がますます充実します。

これを契機に、本協議会も誘致活動をより積極的に行って参りたいと考えております。

つきましては、ハード・ソフト両面において利用者の利便性を考慮した施設環境整備と運営をお願いいたします。

(1) 合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

市内スポーツ施設の管理運営は指定管理者が行っており、それぞれ様々な事業を自主的に展開し、各種スポーツ大会も開催されております。合宿チームの受入に際しては、大会等のスケジュールを把握しチームの要望等に応えられるように引き続き柔軟な対応を行ってまいります。

- (2) 道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み（3月）に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

緑ヶ丘公園庭球場につきましては、これまで5月使用開始でありましたが、平成30年度から4月1日を使用開始とする条例改正をいたしました。

陸上競技場につきましては、3月下旬からオープンさせて合宿の受け入れを行っております。今後につきましても、合宿チームを受け入れるために指定管理者と連携を図りながら柔軟に対応していきたいと考えております。

6 全道全国大会の誘致について【継続】

本市における合宿状況は、従前から学生・社会人を問わず、氷上競技及び陸上競技が多くを占めております。

道内外からの合宿誘致について、道内随一の交通アクセス環境に優れた本市にとって“地の利”を活かす絶好の機会として捉え、誘致活動を積極的に行ってまいりたいと考えています。

各種の誘致活動の推進には、道内他都市に見られる各自治体が先頭に立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、本市における誘致推進活動に対し、より一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

全国で初めてスポーツ都市宣言を行った街として、スポーツで街を活気づけるためには、大会や合宿を誘致し交流人口を拡大することが大切だと考えております。

今後におきましても引き続き、貴協議会と連携を密に取りながら、新千歳空港からの交通アクセスの優位性などを広く周知し、誘致活動を推進して活気あるまちづくりを目指していきたいと考えております。

7 大会誘致事業の推進体制の強化について【継続】

苫小牧市大会等誘致推進協議会の実情及び取巻く環境をご理解いただき、財政的支援の強化をお願いいたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

貴協議会の大会等誘致事業につきましては、本市における交流人口の増加に伴う地域経済への波及効果が大きいものと考えておりますことから、今後も市内関係機関等と連携を図りながら、財政的な支援を行ってまいりたいと考えております。